

B 図形「B (I) 三角形や四角形などの図形ア (ウ)」

頂点, 辺, 面の個数を調べる学習を通して身に付けた知識及び技能を活用・発揮し, さいころを構成する面では, 表と裏の和が7であることを理解し, それらを活用して問題解決するアイデア

ねらい

さいころの表と裏の面の和が7 であることをもとに, 面の数を求めようとしている。

学習課題

さいころの「おもてとうらのめんの目」には, どのようなルールがあるのだろうか。

問題のアイデア

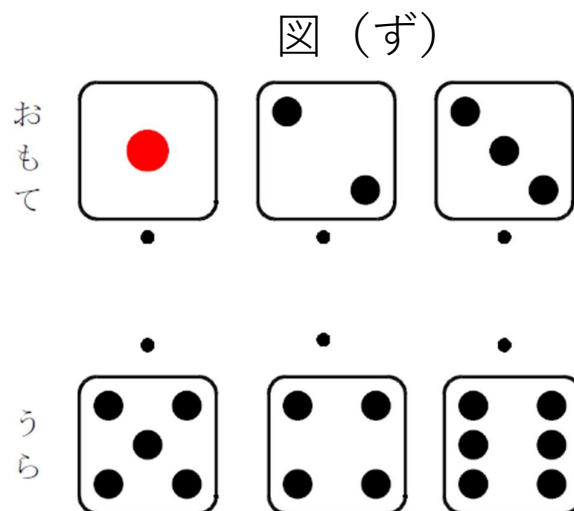
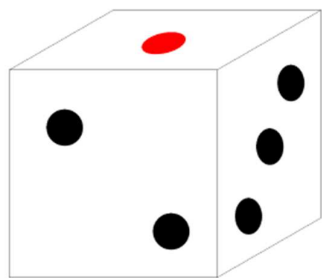
【もんだい】『さいころのひみつ』

さいころの目の数(かず)のきまりをしらべよう。

①ほんもののさいころを、よくかんさつしましょう。

さいころのおもてとうらの目の数には、どんなきまりがありますか。
 ㊦(ず)に、正しいおもてとうらの目の数どうしを、せんでむすびなさい。

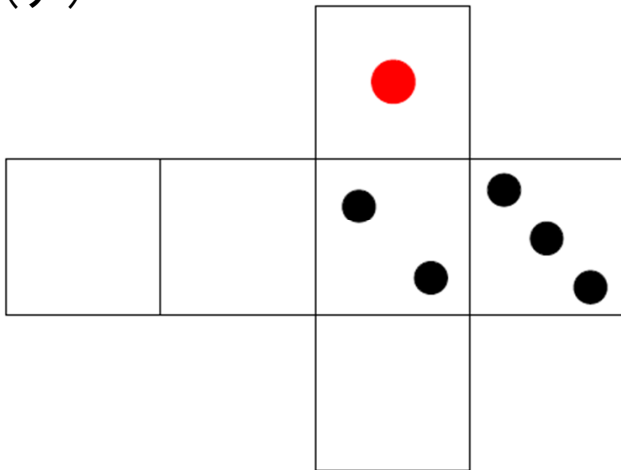
しょうめんにみえている目をおもて、そのはんたいがわにかくれている面をうらとします。



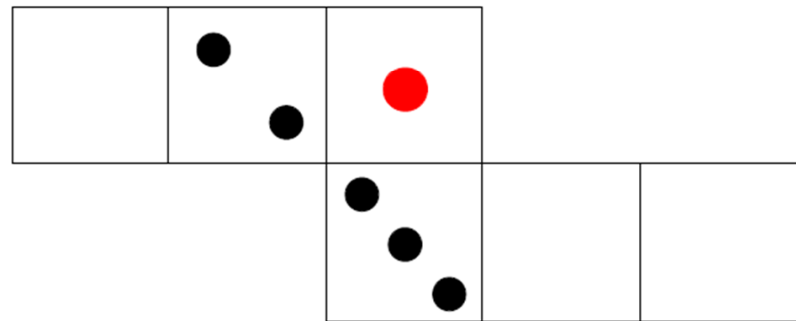
問題のアイデア

- ② さいころをきりひらいたアとイの図に「おもてとうら」の数のきまりをつかって、さいころの目をかきましょう。

(ア)

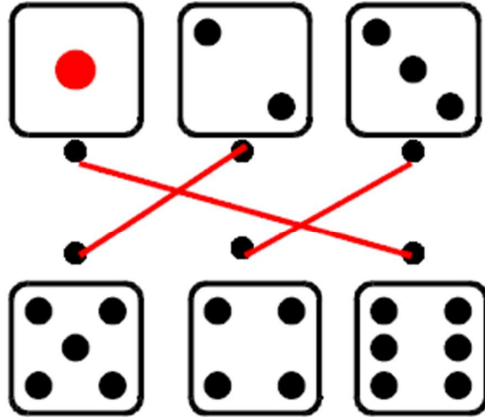


(イ)

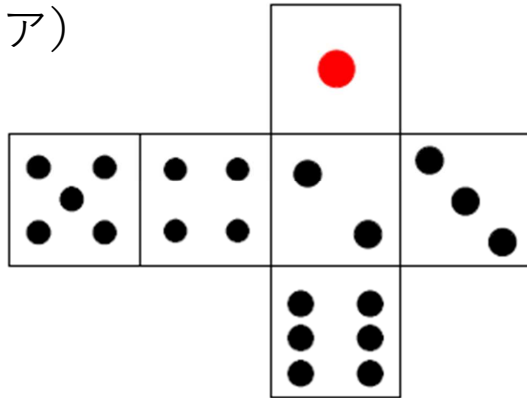


< 解答 >

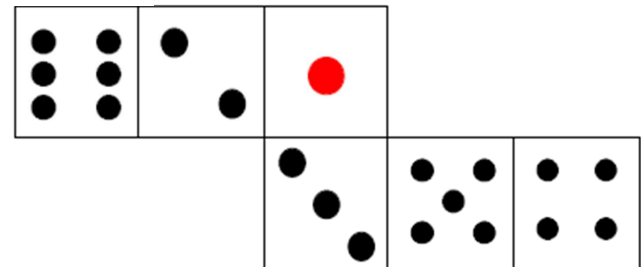
①



② (ア)



(イ)



問題の魅力

○ 正方形のみで構成される箱の形として、さいころは児童にとって身近な立体の一つである。さいころの向かい合う面の数の和が7であることを理解する機会にもなる。また、第4学年で学習する立方体の理解、展開図の素地となる学習である。